

2019年 年頭にあたって

2019.01.01

立命館大学技術士会
会長 大森 秀高

新年明けましておめでとうございます。

2019年が立命館大学技術士会の会員みなさまにとって、健康で、幸せな年となりますよう、心から祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本だけでなく、世界中で寒波・熱波が吹き荒れ、大地震や火山噴火、巨大台風の襲来と天変地異の1年でありました。また、経済においても、米中の経済摩擦が尾を引き、年末から年始に掛け世界中で株価の乱高下。今年も波乱が続くのかと不安に駆られる年始ではあります。

歴史は繰り返すといえます。干支でいう周期は60年です。2019年は己亥の歳。前回の己亥は1959年で、私も小学1年生でした。4月の皇太子（現、平成天皇）のご成婚。晴天のなか、馬車に乗られた皇太子と美智子妃が手を振られている姿が記憶に残っております。5月東京五輪が決定。しかし、9月には伊勢湾台風が襲来。京都の実家は台地にあったのですが、その下を流れる有栖川が氾濫し、坂の中ほどまで水が上がってきたのも覚えています。1年間、良いことばかりとはいかないということでしょう。

今年は、5月に皇太子が天皇に即位され、年号が替わります。7月には参議院選挙があります。そして、10月には消費税が10%に上昇します。良い方向か悪い方向か、終わってみなければ判りません。精度が上がったとはいえ気候変動もまだまだ読めない状況です。しかし、AR（拡張現実）やVR（仮想現実）、人工知能（AI）といった技術が着実に現実化してきております。無人運転の自動車や「空飛ぶタクシー」ももうすぐそこにあります。

当会は、会員相互の充実した活動を促進することを目的としております。先輩技術士には日頃の科学技術や業界に関わる思いや旬な話題のご提供を、また、若手技術士には研修成果や技術報告等の場として当会のイベントへのご参加や会報へご寄稿いただくことを期待しております。自由闊達な意見交換や議論が出来る雰囲気作りに努めてまいります。会員の皆様の期待と叱咤の声で改善してまいりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

本年12月で当会は設立10年となります。技術士を取得された若い人たちに当会に入会していただき、次の時代を担い、幅広く連携して、国土の保全・維持・発展に協力していただけることを願っております。